

(新)国連廃棄物リサイクル会議開催経費

40百万円(0百万円)

廃棄物・リサイクル対策部企画課循環型社会推進室

1. 事業の概要

世界の途上国共通の課題である廃棄物の適正な管理の推進は「アジェンダ21」や「持続可能な開発に関する世界首脳会議実施計画(JP01)」においても重要な課題として取り上げられている。

アジェンダ21及びJP01の取組状況は、国連持続可能な開発委員会(CSD)において毎年レビューされており、廃棄物に関する実施状況については2010年及び2011年に開催されるCSD会合において評価することとなっている。

3Rイニシアティブの提唱などこれまで国際的な循環型社会づくりの議論をリードしてきた我が国に対する世界の期待は高く、こうした期待を受けて、CSDに積極的に貢献するとともに、3Rの世界的な推進を図るため、CSDへ世界の幅広い廃棄物関係者の意見、意志を集約しインプットすることを目的として「国連廃棄物リサイクル会議(仮称)」を、我が国で開催するものである。

2. 事業計画

UNDESAと協力して「国連廃棄物リサイクル会議」を2011年1月～2月頃に国内で開催する。会合の成果は2011年5月に開催される第19回CSD会合にインプットする。

また、「国連廃棄物リサイクル会議」の準備のため、会議での合意を目指す成果文書案の検討を進めるとともに、特に関心を有する国・専門家による準備会合を開催する。

3. 施策の効果

日本のイニシアティブにより、世界的な廃棄物対策の現状と課題、その解決に向けての取組の実施計画等を取りまとめ、2011年に開催されるCSD会合にインプットすることにより、CSDプロセス並びに適正な廃棄物管理及び3Rの世界的な推進に貢献する。

国連廃棄物リサイクル会議開催経費

「アジェンダ21」や「持続可能な開発に関する世界首脳会議実施計画(JPOI)」に示された廃棄物の適正管理や減量化を世界全体で推進することが必要

「国連廃棄物リサイクル会議」開催準備

国連経済社会局(UNDESA)等関係機関・各国との連絡調整等
準備会合の開催
合意文書案の準備・検討



2011年1月～2月 「国連廃棄物リサイクル会議」開催（国内）



世界的な廃棄物対策の現状と課題、その解決に向けての取組の実施計画等を取りまとめ
世界の幅広い廃棄物関係者の意見を集約

国連持続可能な開発委員会(CSD)第19回会合(2011年5月)にインプット

日本のイニシアティブにより、CSDプロセス並びに適正な廃棄物管理及び3Rの世界的な推進に貢献